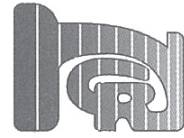


フィリア・レター

～真の友人からの手紙～



発行：中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明 1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.johas.go.jp/>



「認知症ケアチーム」が始動しました

神経内科部長 亀山 隆

超高齢化社会をむかえ、80歳以上で5人に1人とされている認知症の方が今後急増していきます。認知症の方であっても骨折、肺炎や心不全など、いろいろな体の病気で入院治療が必要となる場合がありますが、その際には、体の不自由や苦痛、入院という環境変化などのストレスにより混乱がおきて、せん妄や妄想、興奮などの精神症状や暴言・暴力、徘徊などの行動症状が出現しやすくなります。また、それに伴い、本来の体の治療に支障をきたしたり、転倒・骨折の危険が高くなったり、体の機能の低下や認知症の進行が懸念され、場合によっては、身体の抑制や鎮静剤の使用が必要になります。加えて、入院期間も長くなりがちで、体の状態が落ち着いても、元の生活に戻ることが困難になることもあります。

当院では、このような認知症に伴う行動症状や精神症状などで対応が難しい入院患者さんに対して、体の病気の治療をできるだけ安全にスムーズにできるようにするために、「認知症ケアチーム」を発足しました。このチー

ムは、専門知識と経験を持った各職種が集まり、主治医及び病棟看護師と協力しながら、認知症患者さんの入院療養環境を支援する医療チームです。チームメンバーは医師(神経内科専門医)、認知症看護認定看護師、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、作業療法士、各病棟看護師(認知症研修修了者)から構成されます。

具体的な活動としては、まず、認知症に伴う困難な症状で専門的介入が必要と判断された場合、主治医及び患者さん・家族の同意の上、チームの診療が要請されます。それを受けて、チームによる病棟回診と話し合いを行い、治療方針の決定、薬を使わないケア方法の計画と実施、運動療法による精神症状や行動症状の軽減と心身機能の低下予防、これまでの薬物療法の見直しや助言、スムーズな退院支援や在宅療養への援助などを行っていきます。

以上のような「認知症ケアチーム」の活動を通じて、病院全体で医療スタッフの認知症対応能力を向上させて、認知症になっても安心して入院治療が継続できるように努力してゆきたいと思います。

今月号のお知らせ

- ①「認知症ケアチーム」が始動しました
.....神経内科部長 亀山 隆
- ②「認知症ケアチーム」を紹介いたします!
- ④正しい心療内科を知っていますか?
.....心療内科部長 芦原 睦

- ⑤第11回 市民健康セミナーを終えて
.....整形外科部長 伊藤 圭吾
- ⑥院内行事開催記録
- ⑥当院の理念・当院の基本方針
編集後記